

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日
東

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所
 コード番号 7366 URL <https://litalico.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻 高宏 (TEL) 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,665	22.1	702	76.6	619	89.3	367	221.9
2022年3月期第1四半期	4,639	—	397	—	327	—	114	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 367百万円(221.9%) 2022年3月期第1四半期 114百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.32	10.28
2022年3月期第1四半期	3.22	3.18

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,456	6,029	40.5
2022年3月期	14,302	5,753	39.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,851百万円 2022年3月期 5,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点において、2023年3月期の配当予想額は未定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,000	21.6	3,100	26.8	2,850	27.2	1,450	34.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	35,639,812株	2022年3月期	35,617,112株
2023年3月期1Q	1,830株	2022年3月期	1,830株
2023年3月期1Q	35,627,771株	2022年3月期1Q	35,495,206株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますので、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、2022年3月期1Qの数値を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	2023年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減額	増減率
売上高	4,639	5,665	1,026	22.1%
営業利益	397	702	304	76.6%
経常利益	327	619	292	89.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	367	253	221.9%

(単位:百万円)

セグメント別業績		2022年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	2023年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減額	増減率
LITALICO ワークス 事業	売上高	2,087	2,343	255	12.3%
	利益	829	868	38	4.6%
LITALICO ジュニア 事業	売上高	1,534	1,821	286	18.7%
	利益	192	285	92	48.3%
LITALICO プラットフォーム ホーム 事業	売上高	430	794	364	84.6%
	利益	64	262	197	305.9%
その他	売上高	586	706	119	20.3%
	損失(△)	△65	△16	49	-

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国270拠点で就労や学びを支援するサービスを提供しております。加えて、プログラミング等一般教育分野への展開も進めております。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォームサービスを展開しております。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しております。

当社グループは個人向けサービスとしてLITALICOワークス、LITALICOジュニアスタンダードコース、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの5サービスを、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォームサービスとしてLITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリアの3サービスを運営しております。

LITALICOワークスは、働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2021年3月には2.3%となりました。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっております。しかしながら、2021年における法定雇用率達成企業の割合は47.0%と半数を割り込んでおり、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニアは、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達にお

ける支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOジュニアスタンダードコースでは、児童発達支援施設の運営及び放課後等デイサービスのほか小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートする保育所等訪問支援等のサービスを提供しております。

LITALICOジュニアパーソナルコースでは、特に短期集中型の手厚い指導に特化した教育プログラムを提供しております。

LITALICOワンダーは、テクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフは、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応じてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビは、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを提供し、また、オンラインで当事者家族向け相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビは、働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリアは、障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

また、グループ会社の福祉ソフト株式会社において障害福祉施設や介護施設向けに請求管理システム「かんたん請求」、「かんたん介護」を提供しており、プラスワンソリューションズ株式会社においては主として介護施設向けに請求管理システム「ナーシングネットプラスワン」を提供しております。

当社グループは事業部を基礎としたサービス別にセグメントを構成しており、LITALICOワークスを「LITALICOワークス事業」セグメント、LITALICOジュニアスタンダードコースを「LITALICOジュニア事業」セグメント、LITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリア、福祉ソフト株式会社及びプラスワンソリューションズ株式会社を「LITALICOプラットフォーム事業」セグメントとし、以上3事業を報告セグメントとしております。

セグメントごとの業績は以下の通りです。

<LITALICOワークス事業>

LITALICOワークス事業については、LITALICOワークスにおいて当第1四半期連結累計期間で新規に開設した3拠点の集客も順調に推移し、累計で109拠点となりました。引き続き高水準で就職者数が推移したものの、新規利用者数は順調に拡大しています。一方で今後の出店数増加に向けての体制強化を実施しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,343百万円（前年同四半期比12.3%増）、セグメント利益は868百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

<LITALICOジュニア事業>

LITALICOジュニア事業については、LITALICOジュニアスタンダードコースにおける既存拠点の利用率が引き続き高い水準で推移し、当第1四半期連結累計期間で新規に開設した4拠点の集客も順調に推移し、累計で117拠点となりました。また、既存拠点における訪問支援事業の拡大により、収益性が向上しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は1,821百万円（前年同四半期比18.7%増）、セグメント利益は285百万円（前年同四半期比48.3%増）となりました。

<LITALICOプラットフォーム事業>

LITALICOプラットフォーム事業は、SaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数の増加ペースを加速しつつ、人員の増強など積極的な先行投資を継続しております。また、LITALICOキャリアにおいても契約施設数及び採用支援サービスが拡大しております。なお、2022年4月より機能改善とあわせて既存プロダクトのプライシング変更を実施しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は794百万円（前年同四半期比84.6%増）、セグメント利益は262百万円（前年同四半期比305.9%増）となりました。

<その他>

その他セグメントはLITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフ及びその他新規事業にて構成されています。各事業が順調に推移し、年度替わりに伴う積極的なマーケティング投資や新規事業への投資拡大による費用増を吸収し、当第1四半期連結累計期間の売上高は706百万円（前年同四半期比20.3%増）、セグメント利益は△16百万円（前年同四半期比49百万円改善）となりました。

以上の結果、売上高は5,665百万円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益は702百万円（前年同四半期比76.6%増）となりました。

経常利益は、株式会社Olive Unionへの持分法投資損失を71百万円としていることから、619百万円（前年同四半期比89.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、367百万円（前年同四半期比221.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して153百万円増加し、14,456百万円となりました。これは主に、業容拡大による売掛金の増加等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して121百万円減少し、8,427百万円となりました。これは主に、借入金が増加したものの、税金の支払による未払法人税等の減少260百万円及び賞与引当金の減少339百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して275百万円増加し、6,029百万円となりました。これは主に、親会社株式に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加367百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当方針につきましては、2022年5月9日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,282	1,757
売掛金	3,474	3,667
その他	479	854
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	6,230	6,274
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	1,369	1,433
工具、器具及び備品(純額)	951	904
有形固定資産合計	2,320	2,337
無形固定資産		
のれん	2,209	2,168
ソフトウェア	838	1,129
その他	406	309
無形固定資産合計	3,454	3,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,194	1,144
敷金及び保証金	663	673
繰延税金資産	329	329
その他	108	89
投資その他の資産合計	2,297	2,237
固定資産合計	8,072	8,182
資産合計	14,302	14,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,300	668
1年内返済予定の長期借入金	1,357	1,517
未払法人税等	549	288
賞与引当金	812	472
その他	894	891
流動負債合計	4,913	3,837
固定負債		
長期借入金	3,431	4,388
その他	204	202
固定負債合計	3,635	4,590
負債合計	8,549	8,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	428	456
資本剰余金	467	495
利益剰余金	4,714	4,904
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,606	5,851
新株予約権	146	177
純資産合計	5,753	6,029
負債純資産合計	14,302	14,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,639	5,665
売上原価	2,916	3,444
売上総利益	1,722	2,221
販売費及び一般管理費	1,324	1,518
営業利益	397	702
営業外収益		
投資有価証券売却益	0	-
助成金収入	-	1
その他	1	1
営業外収益合計	1	2
営業外費用		
支払利息	3	6
持分法による投資損失	67	71
その他	0	8
営業外費用合計	72	85
経常利益	327	619
特別利益		
持分変動利益	-	21
新株予約権戻入益	-	3
特別利益合計	-	24
特別損失		
固定資産除却損	8	0
特別損失合計	8	0
税金等調整前四半期純利益	319	644
法人税、住民税及び事業税	204	276
法人税等合計	204	276
四半期純利益	114	367
親会社株主に帰属する四半期純利益	114	367

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	114	367
四半期包括利益	114	367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114	367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額
	LITALICO ワークス 事業	LITALICO ジュニア 事業	LITALICO プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,087	1,534	430	4,052	586	4,639	—	4,639
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	20	20	345	366	△366	—
計	2,087	1,534	450	4,072	932	5,005	△366	4,639
セグメント利益	829	192	64	1,086	△65	1,021	△623	397

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの各サービスを含んでおります。

2. 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額
	LITALICO ワークス 事業	LITALICO ジュニア 事業	LITALICO プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,343	1,821	794	4,959	706	5,665	—	5,665
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	20	20	284	304	△304	—
計	2,343	1,821	815	4,979	990	5,970	△304	5,665
セグメント利益	868	285	262	1,416	△16	1,399	△697	702

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの各サービスを含んでおります。

2. 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。